

発表を評価するには

神奈川県立大師高等学校  
安齋 嶺

# はじめに

- 言語活動
- 発表がうまくなるためには
- 評価は誰のために

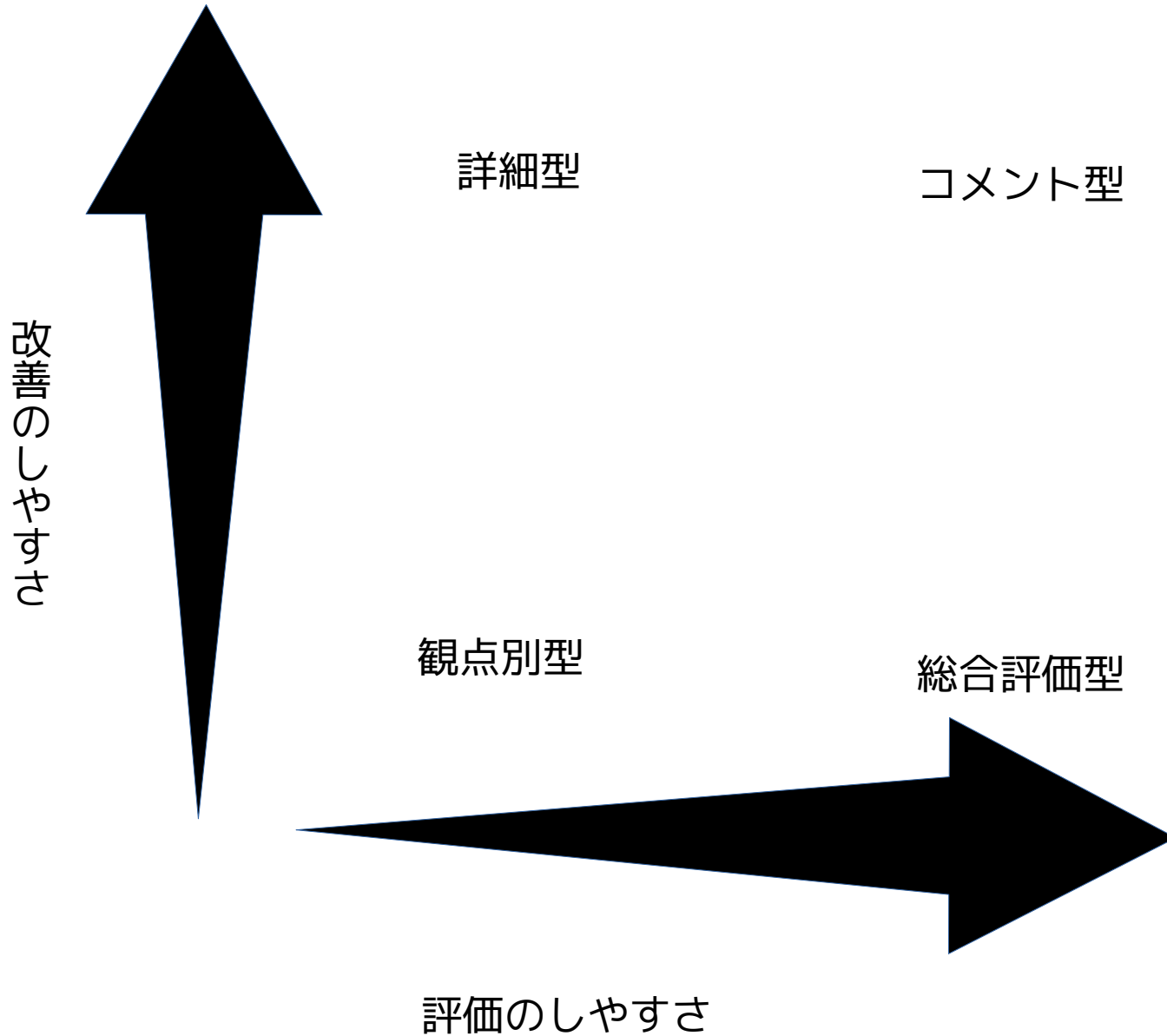
# 評価の目的

- 成績
- 改善
- 技術の向上

# 評価の後に

- フィードバックのスピード
- 発表中の記憶
- 次の発表への反映

# 評価の手法



# 総合評価型

- トータルで何点という付け方
- 評価者への負担は少ない
- 改善は本人まかせ

〇〇さんの発表は



# 観点別型

- 観点を絞り, ポイントを付ける
- 評価者の負担は少なめ
- 改善点もどの観点が良くないか程度でわかる

	声	内容	態度
〇〇さん	B	B	A

# コメント型

- 改善点や良い点などをコメントとして記入
- 評価の作業はやや大変
- 改善点はわかりやすい

〇〇さん	コメント
良い点	声が大きく、聴きとりやすい
改善点	スライドに文字が多すぎる
興味深い点	問題点を解決する方法を試してみたい



# 詳細型

- 観点別型にコメントをそれぞれ付けたもの
- 評価者の負担はコメント欄が多いため大きい
- 改善点はわかりやすい

〇〇さん	評価	コメント(改善点)
声	A	声は大きくてよい
態度	B	発表の途中で、聴衆の様子を見れるとよい
内容	B	良く調査されていて興味深い
スライド	C	文字が多い。図を使うなど工夫がほしい
構成	B	まとめで結論をしっかりと述べてほしい

# 改善のしやすさと集計のしにくさ

- 改善のしやすさ = 具体的な指摘
- 集計のしにくさ = 文章などの回答
- 集計がしにくいことの不利益

# 評価のしやすさと学習効果の薄さ

- 評価のしやすさ = 数値などによる採点
- 学習効果の薄さ = 機械的に回答できる
- 学習効果が薄いことの不利益

# 課題

- フィードバックまでの所要時間
  - 発表中の記憶はいつまで残るか
- ポイント制
  - 数字を書くだけに意味はあるのか

# 提案

- 観点別型+コメント型
- 詳細型
- 総合評価型+コメント型

# 観点別型+コメント型

- コメントは総合で1つ程度
- 改善点は観点でもコメントでも
- 観点だけで集計してもいい

	声	内容	態度	コメント
〇〇さん	B	B	A	スライドの文字が多すぎる

# 詳細型

- グループ代表を決めてからの改善の作業に
- 集計よりも、改善や学習効果優先
- 評価者の負担は大きい

〇〇さん	評価	コメント(改善点)
声	A	声は大きくてよい
態度	B	発表の途中で、聴衆の様子を見れるとよい
内容	B	良く調査されていて興味深い
スライド	C	文字が多い。図を使うなど工夫がほしい
構成	B	まとめで結論をしっかりと述べてほしい

# 総合評価型+コメント型

- 星いくつ+PMI分析
- 少人数向けだが，負担は少ない
- 星の数で競争しだす生徒も

〇〇さん	★ ★ ☆
良い点	声が大きく，聴きとりやすい
改善点	スライドに文字が多すぎる
興味深い点	問題点を解決する方法を試してみたい



# まとめ

- 発表の評価方法を分類
- 改善しやすくても, 評価しやすくても
- 評価方法を提案
  - 総合評価型+コメント型の有用性